

平成 23 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 松 尾 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 清 水 巧
(コード番号 6969 大証市場第2部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 総 務 ・ 経 理 部 門 長 竹 野 井 薫
(TEL 06-6332-0871)

中期経営計画（平成 24 年 3 月期から平成 26 年 3 月期）の策定に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1) 中期経営計画の背景とねらい

当社を取り巻く経営環境の変化に対応するため、『革新への限りなきチャレンジ』をスローガンとし、常に革新を志向し「考動」することにより、持続的な事業成長を目指します。

2) 中期経営計画の基本方針

(1)売上増加を図り持続的な事業成長が可能な営業利益の計上を目指します。

■ タンタルコンデンサ、回路保護素子等、各セグメントにつき、継続的且つ安定的な利益体質の確立を目指します。

(2)市場志向を徹底し、全社的な市場適応力を強化します。

■ 市場に受入れられる「品質・性能・価格・納期」の実現を目指します。

(3)会社が求める人材育成を強化します。

■ 企業活動の全ての局面に於いて、「基本」に従って「考動」出来る人材を育成します。

(4)財務体質の強化と株主への適切な利益還元を目指します。

(5)CSR活動をステップアップします。

3)目標を達成するための施策

(1)営業活動

■ 有機系コンデンサ、回路保護素子の売上伸長を図りマンガン系タンタルコンデンサのみに依存しない、バランスの取れた売上高構成を目指します。

■ カーエレクトロニクス、小型携帯機器等の主力市場の売上増加を図ると共に、ホームエレクトロニクス・医療機器等の分野への拡販を目指します。

■ 海外市場に於ける販売力を強化し、海外売上の増加を目指します。

(2)品質活動

■ 市場毎に品質レベルをグレード分けし、顧客要求に適合する品質レベルの製品提供を目指します。

(3)開発活動

■ 高信頼度機器市場、車載・産業機器市場、汎用機器市場等、それぞれの市場に適合する製品開発活動を、市場別商品開発ロードマップに沿って実行します。

■ 市場別商品開発ロードマップは、当該市場動向を的確に把握して継続的に見直し、顧客の早期商品化の要求に対応できる開発体制の確立を目指します。

■ 計画期間中に製品群毎に以下の製品開発を目指します。

- ① タンタルコンデンサ 体積効率を更に向上させた薄型品
- ② フィルムコンデンサ 環境・エネルギー分野での汎用品、カスタム品
- ③ 回路保護素子 電流ヒューズについては、超小型品、高電流対応品、及び車載向け品、サージアブソーバについては、ESD(静電気放電)耐性向上品、低トリガー電圧品

(4)人事活動

■ トレーニングを重視した社員教育を行い、「基本」に従って「考動」できる人材の育成を目指します。

- ① 社員個人については、コミュニケーション能力の向上を目指し、更に単なる「作業員」ではなく「技能者」として「考動」できる能力を持つことを目指します。
- ② 管理者は、組織目標達成のため、マネジメント能力の向上を図ります。

(5)生産活動

■ 主力工場である福知山工場、及び連結子会社である島根松尾電子(株)の生産管理・品質管理を「基本」に立ち返り確立し、採算性の向上を目指します。

- ① 売上が漸減していたフィルムコンデンサを事業の柱として再生させることを目指します。
- ② 品質グレード毎の生産ラインの確立を目指します。特に汎用品生産ラインを確立し、価格・品質面で顧客の満足が得られることを目指します。
- ③ 製造コスト、設備費用の削減を目指します。
- ④ リードタイムについては、生産工程の時間管理化を推進し短縮を目指します。
- ⑤ リードタイムの短縮により、たな卸資産の削減を目指します。

(6)CSR 活動

■ 各 CSR 管理活動につき、リスク管理面での強化を図るとともに、計画期間最終年度の「環境報告書」には、CSR活動に係る事項の記載を強化して公表することを目指します。

4)数値目標(連結)

平成 26 年 3 月期に於いて、連結売上高 81 億円、連結営業利益 3.2 億円の計上を目標とします。

単位:百万円

年度	平成23年3月期 (実績見込み)	平成24年3月期(計画)	平成26年3月期 (目標)
連結売上高	7,076	7,100	8,100
連結営業利益	287	130	320
連結総資産経常利益率	2.6%	2.3%	3.2%

以上